

つくる会 FAX 通信

第 99 号 平成 15 年(2003 年)10 月 29 日(水) 送信枚数 3 枚
TEL 03-5800-8552 FAX 03-5804-8682 <http://www.tsukurukai.com>

大阪書籍の尾鷲汚職事件を受けて本会が記者会見 27日、教科書協会と文部科学省へ要望書を手交

去る 9 月 18 日、平成 13 年度の教科書採択において、現金を渡して不正選定を依頼した大阪書籍と現金を受け取った三重県尾鷲市の教育長が逮捕されるという醜悪極まる贈収賄事件が発覚、関係者 5 人が逮捕されました。

報道によりますと、以前から内偵していた愛知・三重両県警の合同捜査本部は、尾鷲市教育長の東利三容疑者(65歳)を収賄容疑で、また贈賄容疑で、大阪書籍東海支社の元担当顧問である蒔田順一容疑者(67歳)、同支社長の新海英樹(52歳)、同支社課長の小森透(45歳)、同支社元主任の西尾章高(45歳)容疑者 4 人を 17 日に逮捕しました。5 人はいずれも容疑を認めているということです。

蒔田容疑者らは県警の調べに対して「当時は『新しい歴史教科書をつくる会』の教科書が話題を集めており、負けるわけにはいかなかった」と、その理由の一端を述べていたことも明らかになっています。

つまり、採択が始まる前に、文部科学省から教科書会社には「適正かつ公正」な採択をするよう文書で指導されていたにもかかわらず、「新興勢力には負けられぬ」と大阪書籍は会社ぐるみで犯行を企図し、教育長もそれに同調した確信犯だったようです。

大阪書籍といえば、中学校の歴史教科書の採択率では東京書籍に次いで業界第 2 位の大手版元です。しかし、大阪書籍の小学校の歴史教科書には「日本軍の残虐さを批判する壁画」という説明付きで例の「乳房切り」の図版を掲載、本文でも「日本軍は、中国各地に侵攻し、多くの生命を奪うなど、中国の人々に大きな被害を与えました」と書いています(現在は削除して別の図版を使用)。

また、中学校の歴史教科書では「日本の近代とアジア」という、日本の近代を記述する章の扉に銃や剣を構えた朝鮮の抗日義勇兵の写真を掲げ、「この人たちの銃口はだれに向けられているのでしょうか」と煽動的な説明を付け、さらには、「日本軍と戦うため前進する中国軍」という写真説明をつけてカラーグラビアに写真を掲載する歴史教科書を発行していた教科書会社です。さすがに現在は削除されていますが、記述内容はほとんど変わりません。

このような内容の教科書を広めるために、大阪書籍は金品の授受を禁止する公正取引委員会の特殊指定を破り、文科省の通達を破ってまで贈賄工作をしていたことが明らかになったわけです。

本会では、かねてから教科書業界と教育界の癒着ぶりを仄聞していましたが、日本の次

代を担う子供たちのために、そのような醜い慣れ合い関係を払拭し、文科省の通達に沿った教科書採択をと、教科書内容の改善とともに、採択の正常化を訴えてまいりました。

そこで、去る10月27日、大阪書籍も会員である(社)教科書協会と、教科書行政を管轄する文部科学省に対して「大阪書籍による贈賄事件の真相究明を求める要望書」を手交し、文科省において記者会見いたしました。

(社)教科書協会には藤岡信勝副会長らが出向き、同協会の安部英伸事務局長に常田寛会長宛の要望書を手交しました。協会としても、由々しき事態が発生したとの認識で、今後、役員会などで協会としての対応を協議してゆくとのこと。本会の申し入れに対しては10月末までに対応の内容を伝えると確約。

また、文科省には田中英道会長と藤岡信勝副会長らが出向き、初等中等教育局教科書課の片山純一課長と伊藤学司課長補佐らに河村建夫大臣宛要望書を手交し、その見解を質しました。文科省としては「すでに三重県教育委員会とも連絡をとっているが、容疑者が取り調べ中なので、事件の状況が分り次第、必要があれば厳正な指導をする」とのことでした。

その後、文科省の記者クラブにおいて田中会長と藤岡副会長が会見、本会の声明を発表いたしました。ここに、その全文をご紹介します(声明文は縦書き)。

大阪書籍による贈賄事件に関する「つくる会」の声明

当会は本日、このほど明らかになった大阪書籍の教科書採択にからむ贈賄事件について、文部科学大臣および教科書協会会長あてに要望書を提出した。その趣旨は以下のとおりである。

平成十三年度の教科書採択の際に、大阪書籍が贈賄行為を行っていた事実が、このほど明らかになった。愛知県警と三重県警の合同捜査本部は、収賄の容疑で三重県尾鷲市教育委員会教育長・東利三容疑者を、また贈賄の容疑で大阪書籍の元東海支社担当顧問・蒔田順一容疑者など四名を逮捕した。

新聞報道によると、大阪書籍は、「新しい歴史教科書をつくる会」が提唱した、『新しい歴史教科書』と『新しい公民教科書』が話題を集めていることに危機感を抱き、蒔田容疑者らが、東教育長に対して現金数十万円を賄賂として提供し、「巻き返しを図った」とされている。その見返りに東教育長は「大阪書籍派」の校長を教科書調査部会長に選任して、大阪書籍の採択を確実にしたという。

大阪書籍は、小学校の歴史教科書にまで悪名高い虚偽の残虐な写真を掲載するなど、日本人の名誉と尊厳を傷つける教科書を編集してきた教科書会社である。今回の事件は、かねてからうわさされてきた教科書業界と教育界の腐敗した体質が暴露されたというだけでなく、自虐的・反日的な教科書を維持するために不正が行われていたという点でも、歴史教科書の改善運動に取り組んでいる当会にとって看過することの出来ない問題であり、激しい怒りを覚える。

我が国の教科書行政を管轄する文部科学省にも、今回の事件の責任の一端があることは自明の理であると考えます。また、教科書会社の業界団体としての教科書協会も、教科書会社に対して相応の注意を喚起すべき立場にあり、今回の事件に関して一定の社会的責任を免れない。

そこで、当会は、文部科学省に対して、次の諸点について申し入れを行った。

- 一、文部科学省として、今回の事件をどのようにとらえているのか、基本的な見解をお示しいただきたい。
- 二、三重県尾鷲地区で採択された大阪書籍版教科書の採択変更はおこなうのかどうか、大阪書籍の教科書会社としての認可取り消しの有無等、関係者と関係地区に対する具体的な対応について、その方針と根拠をお示しいただきたい。
- 三、事件の解明を警察当局にゆだねるだけでなく、文部科学省としてもすすんで事件の全容をさらに徹底的に調査し、問題点を社会に公表すべきであると考えているが、その予定をお示しいただきたい。
- 四、他の採択区においても同様のことがなかったか、また、他社においても同様のケースがなかったかを調査すべきであると考えているが、調査の予定をお示しいただきたい。
- 五、今後このような事件が起こらないよう、教科書採択の適正化のために、文部科学省としてどのような方策をとられるおつもりか、その内容をお示しいただきたい。

教科書協会に対する申し入れも、「二」を除き、ほぼ同趣旨である。

当会は、今回のような事件が二度と起こらないよう、関係者に対して今後とも強く働きかけていくとともに、教科書の内容の改善とともに採択の適正化の必要を広く国民各層に呼びかけていく決意をここに表明するものである。

平成十五年十月二十七日

新しい歴史教科書をつくる会

会長 田中英道

尚、大阪書籍は本社が大阪にあり、中学校の歴史教科書の場合、同社を採用している地域は下記のようにすべて愛知県以西の地域です。当然のことながら、これらの地域でも贈賄工事が行われていた可能性があります。情報をお持ちの方は本会までご連絡をお願いします。

また、最近、東京都でも同様の事件が明らかになっていますので、大阪書籍に限らず、教科書会社と教育委員会や教師との癒着をご存じの方は、本会まで情報をお寄せください。

《大阪書籍の歴史教科書を採択した地区》

- | | |
|------|---|
| 愛知県 | 名古屋・尾張東部・海部・知多 |
| 三重県 | 北勢1・北勢2・北勢3・中勢・松阪・鳥羽志摩・伊賀・尾鷲 |
| 大阪府 | 大阪第一・大阪第三・大阪第四・大阪第五・大阪第六・大阪第七・大阪第八・豊能第一(池田市は除く)・豊能第二・三島第二・北河内四・中河内一(松原市は除く)・南河内・泉南第一(貝塚市は除く)・泉南第二 |
| 京都府 | 乙訓 |
| 滋賀県 | 第四・第五 |
| 和歌山県 | 伊都・有田 |
| 広島県 | 大竹市・佐伯郡・賀茂郡・高田郡・山県郡・三原市・世羅郡・福山市・府中市・沼隈郡・深安郡・神石郡・芦品郡・三次市・甲奴郡・双三郡 |
| 山口県 | 美祢 |
| 高知県 | 香美 |
- | | |
|-----|--------------------------|
| 兵庫県 | 西宮・芦屋・川西・淡路・北播・三田市・丹波・但馬 |
| 奈良県 | 第二・第三・第四・第五・第六・第七 |
| 岡山県 | 旭東・倉敷・高梁 |
| 徳島県 | 中央 |
| 福岡県 | 北九州市・南筑後・筑豊 |

詳細はつくる会HPに掲載します。